

九州地域国内肥料資源利用拡大ネットワーク 会員の皆様

日頃より農林水産行政及び国内肥料資源の利用拡大に関する取組等へのご理解・ご協力ありがとうございます。

令和6年7月10日現在時点では、139の機関・個人の皆様に会員登録をいただいております。

ネットワーク事務局より5点情報提供させていただきます。

1. 「RPF ボイラーによる堆肥水分調整を利用した効率的ペレット堆肥製造システム」の実演会参加者を募集します

農研機構九州沖縄農業研究センターと菊池地域農業協同組合は、8月2日(金)に、「RPF ボイラーによる堆肥水分調整を利用した効率的ペレット堆肥製造システム」の実演会を開催します。

従来法に比べて低コスト・短時間で堆肥を乾燥し、効率的に堆肥をペレットに成形できるペレット堆肥製造システムが実際に稼働する様子をご覧いただけます。

日時：2024年8月2日(金) 14:00～15:30

場所：JA 菊池 有機支援センター合志（熊本県合志市竹迫1078）

募集人数：50名（申込期限は7月19日（金）ですが、定員になり次第締め切りとなります。）

詳細は、以下の農研機構九州沖縄農業研究センターのホームページをご確認ください。

(お知らせ)「RPF ボイラーによる堆肥水分調整を利用した効率的ペレット堆肥製造システム」の実演会を開催 | プレスリリース・広報 (naro.go.jp)←クリック！

2. 「耕×畜なび」に堆肥情報を載せてみませんか？堆肥を探しませんか？

JA全農では、畜産堆肥の利活用推進のため令和5年3月に「耕×畜なび」というサイトをリリースしました。

耕×畜なび (ko-chiku.com)←クリック！

「耕×畜なび」では、全国各地約260か所の堆肥センターで生産されている堆肥の情報を、日本地図上（WEB）から検索することができます。

『「耕畜連携」を始めたいが他のエリアではどのような堆肥が生産されているのか？』『近隣の堆肥センターはどこにあるのか？』等、堆肥の情報収集にご活用ください。

また、「耕×畜なび」では現在、情報の掲載する畜産農家・堆肥センターを募集しています。

現状、「耕×畜なび」には、JAや地方公共団体の所有する堆肥センターについて掲載していますが、肥料販売業務開始届出書を提出している畜産農家も掲載可能です。

是非、情報掲載にご協力頂き、畜産堆肥の利用促進を図りたいと思います。

掲載をご希望の方は下記の連絡先にご連絡をお願いします。

JA全農 畜産総合対策部 統轄課 畜産サステナビリティ推進室 tel: 03-6271-8215

3. 現場への普及が期待される技術として「みどりの食料システム戦略技術カタログ」を紹介します

農林水産省では、みどりの食料システム戦略の実現に向けて、戦略で掲げた各目標の達成に貢献し、現場への普及が期待される技術を、「みどりの食料システム戦略技術カタログ」として取りまとめています。令和6年6月21日にvol.4を公開しました。

カタログには、「牛ふん堆肥の散布技術」や「有機物施用による土づくり」など、国内資源由来肥料の活用技術が掲載されています。

ぜひご活用ください。

「みどりの食料システム戦略」技術カタログ：農林水産省 (maff.go.jp)←クリック！

4. 第11回ディスカバー農山漁村（むら）の宝の取組を募集します

「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」は、「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現のため、農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことにより地域の活性化や所得向上に取り組んでいる優良な事例を選定し、全国への発信を通じて他地域への横展開を図るもので

今年も、他の地域の参考となるような優れた地域活性化等の取組を募集し、優良地区を選定します。過去には国内肥料資源を活用した取組みも選定されています。

(参考事例：第6回選定地区 NPO法人伊万里いあちがめプラン（伊万里市）；生ごみ堆肥化の取組
ディスカバー農山漁村（むら）の宝：農林水産省 (maff.go.jp)←クリック！

【第11回募集はこちらから】

地域の活性化や所得向上につながる農山漁村の取組事例を表彰します！：農林水産省 (maff.go.jp)←クリック！

5. 環境負荷低減のクロスコンプライアンスについて

環境負荷低減のクロスコンプライアンスとは、農林水産省の補助金等の交付を受ける場合に、みどりの食料システム法の基本方針に示された「農林漁業に由来する環境負荷に総合的に配慮するための基本的な取組」に基づいた最低限の内容を実施いただくものです。

その取組内容は、日頃の事業活動における最低限行うべき取組として、より多くの農林漁業者等の皆様が意識すれば取り組めるもので構成されています。

令和6年度は試行実施として、事業申請時のチェックシートの提出に限定して開始し、令和7年度以降、事業実施後の報告や事後確認を順次開始し、令和9年度を目標に農林水産省の全ての事業を対象に本格実施することとしています。

詳細は、以下のホームページをご覧ください。

環境負荷低減のクロスコンプライアンス：農林水産省 (maff.go.jp)←クリック！

★会員の皆様からの情報を受け付けています

国内肥料資源の利用拡大に関する会員の皆様からの情報を隨時受け付け、関係者による取組に関する情報を発信します。

会員の皆様からの情報は、こちらから受付けております。

★メールマガジンバックナンバーはこちら

メールマガジンバックナンバー：九州農政局 (maff.go.jp)

★ネットワーク会員登録について

会員登録を希望される方は「九州地域国内肥料資源利用拡大ネットワーク設置要領 ([kyushu_hiryounetwork-2.pdf \(maff.go.jp\)](http://kyushu_hiryounetwork-2.pdf (maff.go.jp)))」をご覧いただき、内容について同意の上、登録フォームから会員登録をお願いします。

なお、申し込みによって得られた個人情報は、本ネットワークの活動以外には使用しません。
[九州地域国内肥料資源利用拡大ネットワークの会員登録について：九州農政局 \(maff.go.jp\)](http://kyushu_hiryounetwork-2.pdf (maff.go.jp))

★会員登録情報の変更及び退会について

【担当者の変更】

担当者が変更となった場合は、新担当者にて、改めて上記フォームより会員登録をお願いします。

その際、必ず、フォームの「その他」の欄に、前任の担当者情報（所属、氏名等）を記載し、担当者が変更となった旨を記載してください。

【登録情報の変更】

登録者にて、改めて、改めて上記フォームより変更後の情報を登録してください。

その際、必ず、フォームの「その他」の欄に、旧情報（所属、氏名、メールアドレス等）を記載し、登録情報が変更となった旨を記載してください。

【退会】

登録者にて、改めて、上記フォームより、登録情報を入力し、フォームの「その他」の欄に、退会する旨を記載してください。若しくは、ページ下部の問い合わせ先まで電話でご連絡ください。